

5 医療費の状況

(1) 医療費全体の状況

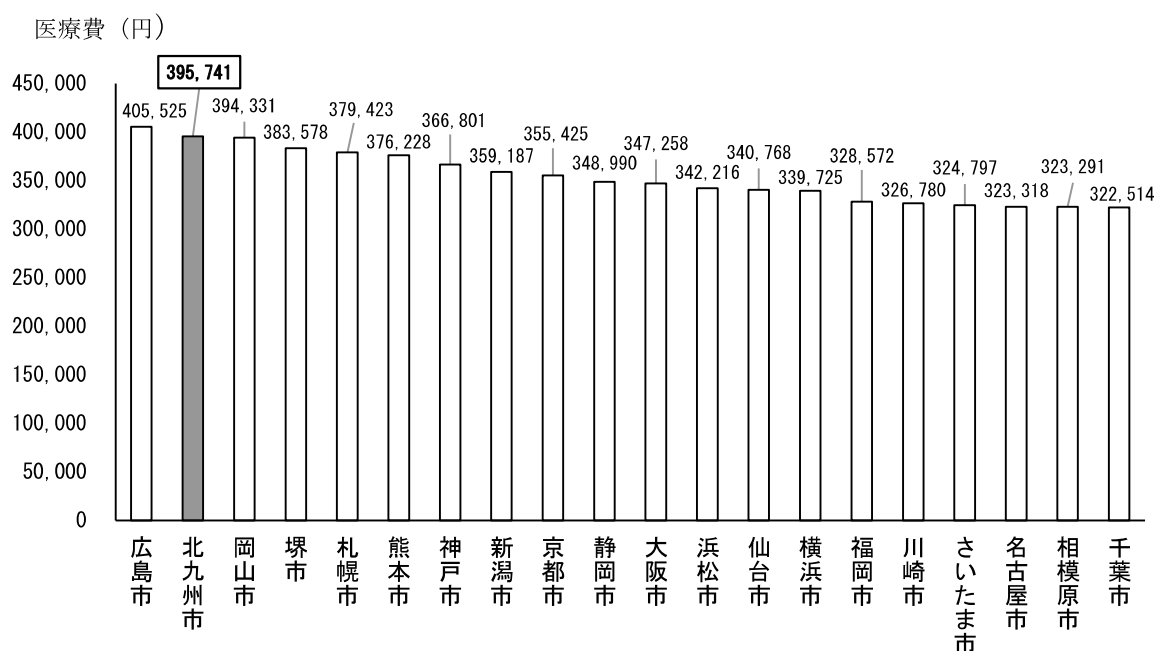
平成28年度の本市の国保加入者の医療費は、総額911億円で、そのうち一般被保険者の医療費が890億円、退職被保険者の医療費が20億円です。1人あたりの一般被保険者の医療費は39万6千円で、政令市では2番目に高い状況です(図表2-26、2-27)。

[図表2-26 国民健康保険医療費]

	一般	退職 ^{※1}	合計
総額	89,065,512千円	2,041,087千円	91,106,599千円
1人あたり医療費	395,741円	487,831円	397,422円
被保険者数	225,060人	4,184人	229,244人

【出典】保険年金課調べ(平成28年度)

[図表2-27 国民健康保険1人あたりの医療費(一般被保険者分)]



【出典】保険年金課調べ(平成28年度)

※1 退職者医療制度：会社等を退職し、現在、老齢(退職)年金を受給している方が、65歳になるまでの間加入する制度
退職者医療制度は平成27年3月末に廃止され、これ以降、新規の対象者が増えることはなくなった
(いくつかの要件に該当する方は、65歳の誕生日の前日の属する月まで引き続き適用される)

(2) 医療資源の概況（人口千人当たり）

本市は、病院数や診療所数、医師数が多く、医療資源が豊富です。

人口千人当たりの病床数が多いことは、入院患者数の多さ及び医療費の高さに影響を与えていると考えられます（図表 2-28）。

〔 図表 2-28 医療資源の概況 〕

	北九州市		政令市平均		福岡県		全国	
	実数	割合※ ¹	実数	割合※ ¹	実数	割合※ ¹	実数	割合※ ¹
病院数	90	0.4	1,487	0.3	460	0.4	8,255	0.3
診療所数	958	4.3	21,307	3.8	4,587	3.8	96,727	3.0
病床数	19,111	85.0	302,097	54.1	86,071	70.4	1,524,378	46.8
医師数	3,347	14.9	73,695	13.2	15,660	12.8	299,792	9.2
外来患者数※ ²	720.1		676.4		686.6		668.1	
入院患者数※ ³	24.2		17.8		22.3		18.2	

【出典】KDB（平成 28 年度）

※ 1 割合：国保被保険者千人当たりの数

※ 2 外来患者数：外来レセプト件数÷被保険者数×1,000

※ 3 入院患者数：入院レセプト件数÷被保険者数×1,000

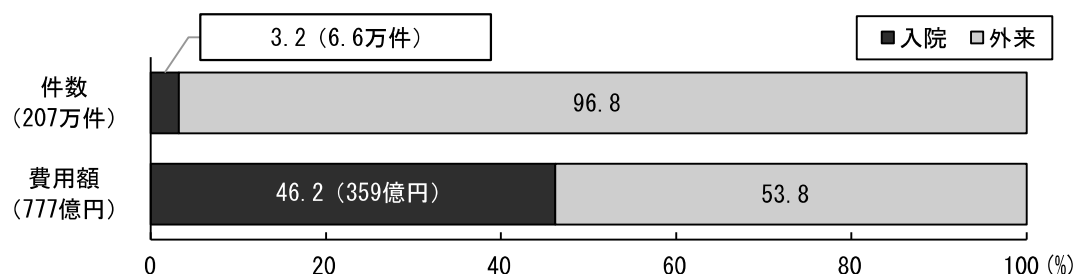
(3) 入院と外来の状況

平成 28 年度の医科レセプトをみると、入院に係る件数は約 3% ですが、費用割合では約 46% を占めています（図表 2-29）。また、本市の医療費に占める入院医療費の割合は、他の政令市や全国よりも高くなっています（図表 2-30）。

予防可能な疾患である生活習慣病※¹の入院に占める割合を見ると、件数・費用ともに 50% を超えています（図表 2-31）。

これらのことから、生活習慣病が医療費を上げる一つの要因となっていることがうかがえます。症状の軽いうちに外来を受診し、重症化を予防することで入院を減らすことが重要だと言えます。

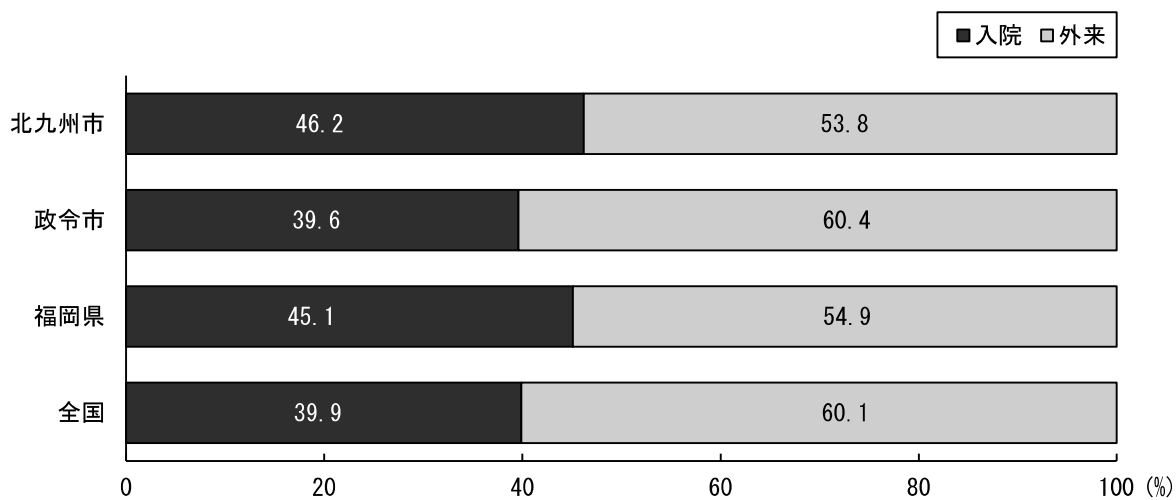
〔 図表 2-29 入院が占める割合 〕



【出典】KDB（平成 28 年度）

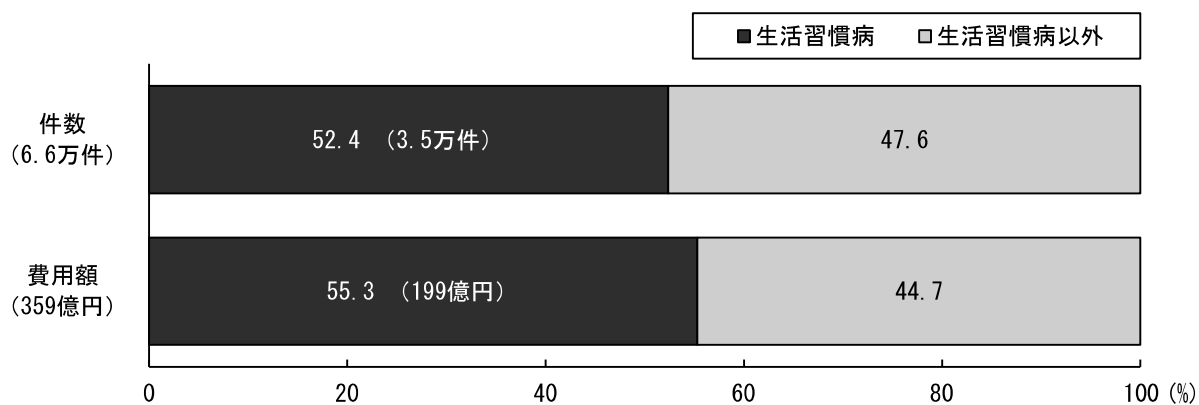
※ 1 生活習慣病：糖尿病・高血圧・脂質異常症・高尿酸血症・脂肪肝・動脈硬化症・脳出血・脳梗塞・狭心症・心筋梗塞・がん・筋骨格・精神（KDB 集計要件より）

〔 図表 2-30 入院と外来の費用額の割合 〕



【出典】KDB（平成 28 年度）

〔 図表 2-31 入院のうち生活習慣病が占める割合 〕



【出典】KDB（平成 28 年度）

(4) 疾患別にみた医療費の状況

ア 疾患別の医療費と1人あたりの医療費

平成28年度の本市における脳血管疾患、虚血性心疾患、腎疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病の医療費全体に占める割合は約21%で、全国より低く、福岡県と比較するとやや高い傾向にあります。脳血管疾患^{※1}、虚血性心疾患^{※2}の疾患別に見た被保険者1人あたりの医療費の割合は、平成25年度よりも減少していますが、全国や福岡県と比較してまだ高い状況にあり、今後も重症化予防に取り組んでいく必要があります。

また、本市の特徴として、悪性新生物や精神疾患の医療費に占める割合や被保険者1人あたりの医療費が全国よりも高く、平成25年度と平成28年度を比較しても増加しています。悪性新生物や精神疾患への取組も関係部署と情報を共有し、一体的に行っていく必要があります(図表2-32、2-33)。

[図表2-32 疾患別にみた医療費の状況]

		脳	心	腎		高血圧	脂質異常症	糖尿病	脳・心・腎・ 高血圧・脂質異常症・糖尿病 の医療費合計と割合	悪性 新生物	精神 疾患	筋・ 骨疾患	
		脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞	慢性腎不全									
				(透析有)	(透析無)								
北 九 州 市	25年度	2.8%	2.8%	3.5%	0.5%	5.8%	3.1%	4.9%	193億2,144万円	23.4%	12.9%	10.8%	8.9%
	28年度	2.5%	2.3%	3.0%	0.5%	4.7%	2.9%	5.1%	163億1,003万円	21.0%	14.7%	11.4%	9.0%
全国	28年度	2.2%	2.0%	5.4%	0.3%	4.8%	2.9%	5.4%		23.1%	14.2%	9.4%	8.5%
福岡県		2.3%	2.0%	3.0%	0.4%	4.6%	3.0%	4.8%		20.2%	14.1%	11.8%	8.9%

最大医療資源傷病名(調剤含む)による分類結果

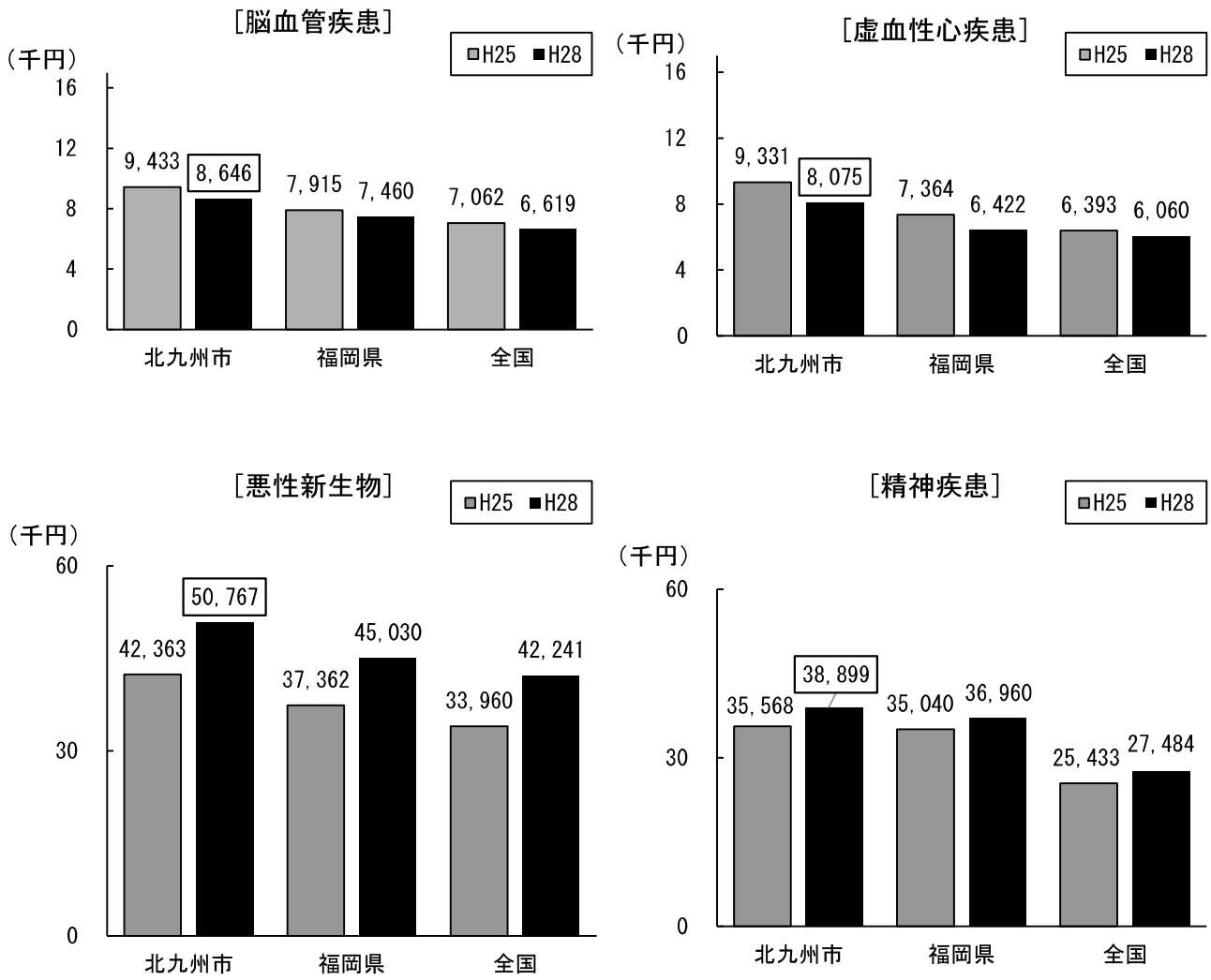
「最大医療資源傷病名」とは、レセプトに記載された傷病名のうち最も費用を要した傷病名

【出典】KDB(平成25年度、平成28年度)

※1 脳血管疾患: 最大医療資源傷病名が脳梗塞または脳出血とレセプトに記載されているものを集計

※2 虚血性心疾患: 最大医療資源傷病名が狭心症または心筋梗塞とレセプトに記載されているものを集計

〔 図表 2-33 疾患別にみた被保険者 1 人あたりの医療費 〕



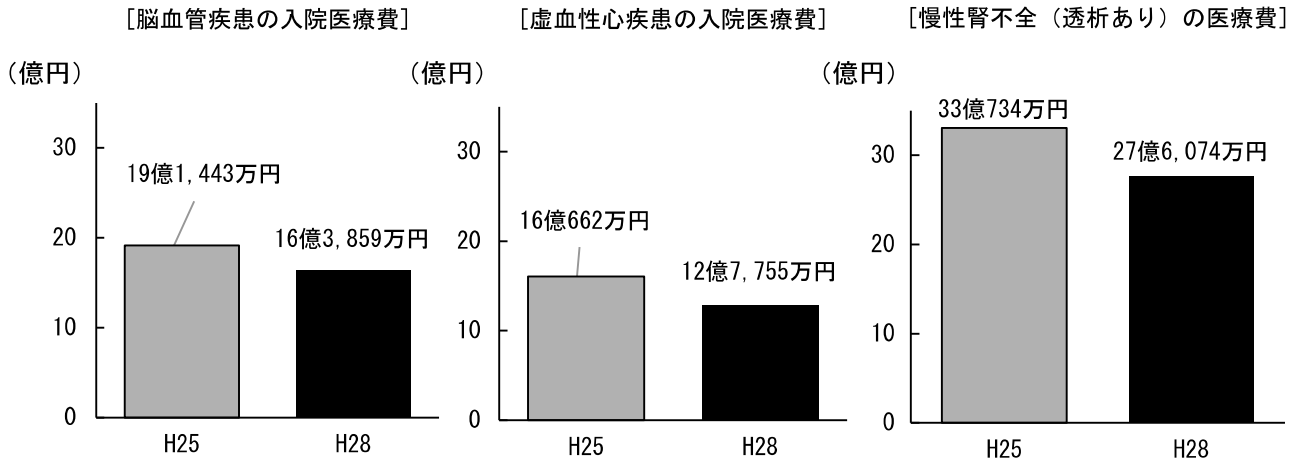
【出典】KDB（平成 25 年度、平成 28 年度）

イ 重症化した疾患の入院等医療費の推移

脳血管疾患・虚血性心疾患の入院医療費や慢性腎不全（透析あり）の医療費の総額はいずれも減少しています。

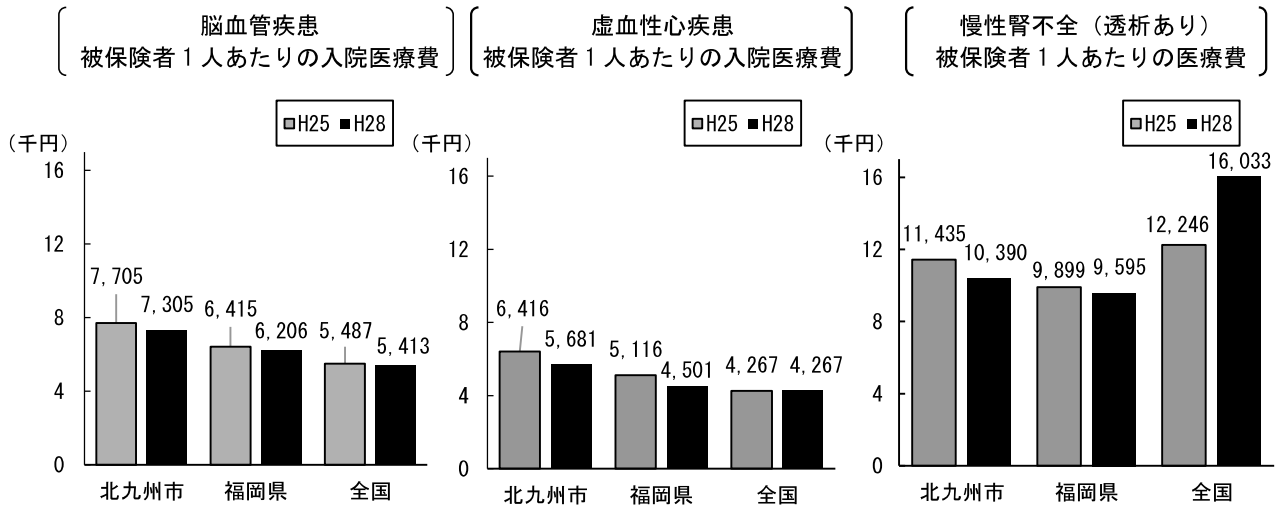
また、被保険者1人あたりの入院等医療費で見ると、平成25年度より平成28年度は減少していますが、全国や福岡県に比べると高くなっています（図表2-34、2-35）。

〔 図表2-34 重症化した疾患の入院等医療費の推移 〕



【出典】KDB（平成25年度、平成28年度）

〔 図表2-35 重症化した疾患の1人あたり入院等医療費の推移 〕



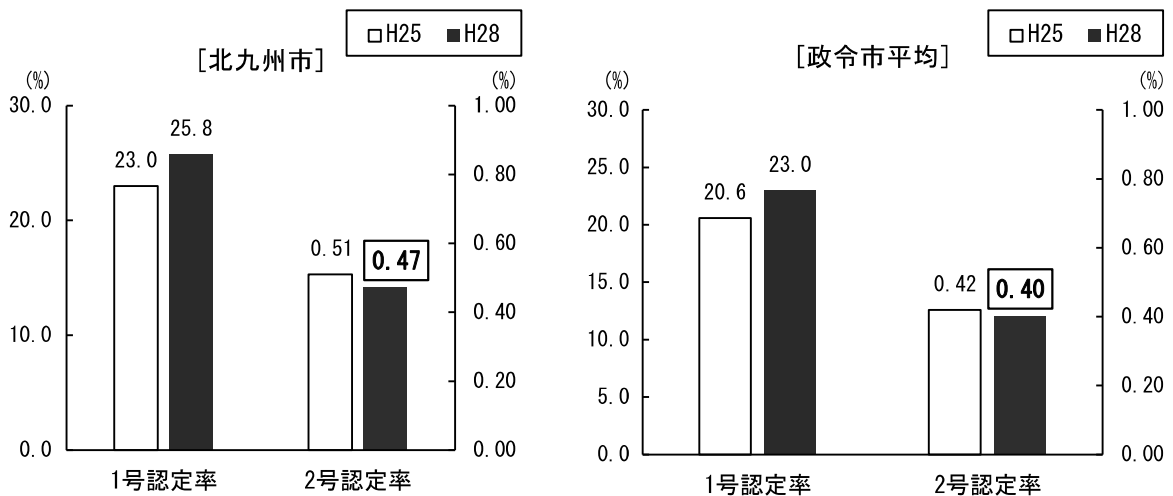
【出典】KDB（平成25年度、平成28年度）

6 介護の状況

(1) 第1号被保険者と第2号被保険者の要介護認定率

本市の第1号被保険者（65歳以上）の要介護認定率は、平成25年度の23.0%から平成28年度の25.8%と上昇しています。第2号被保険者（40～64歳）の要介護認定率は平成25年度0.51%から、平成28年度は0.47%と減少していますが、政令市平均より高い傾向にあり、今後も早期からの重症化予防に努めていく必要があります（図表2-36）。

[図表2-36 要介護認定率の変化]



【出典】KDB（平成25年度、28年度）

(2) 要介護認定者の有病状況と医療費

国保加入者で要介護認定を受けている者の有病状況^{※1}（生活習慣病^{※2}有病者の割合）を見ると、全ての疾患で政令市平均、全国を上回っています（図表2-37）。

特に第2号被保険者（40～64歳）の有病状況を見ると、脳血管疾患^{※3}（脳出血、脳梗塞）が約6割を占めています。また、脳血管疾患の第一の危険因子である高血圧の有病状況も約7割を占めている状況です（図表2-38）。

要介護認定を受けている人の医療費は、受けていない人よりも、医科のレセプト1件あたりの医療費が74,390円も高く、これは政令市平均よりも高い金額となっています（図表2-39）。

※1 有病状況：レセプトの診断名より重複して計上。糖尿病は糖尿病の合併症（網膜症・神経障害・腎症）も含む

※2 生活習慣病：糖尿病・高血圧・脂質異常症・高尿酸血症・脂肪肝・動脈硬化症・脳出血・脳梗塞・狭心症・心筋梗塞・がん・筋骨格・精神（KDB集計要件より）

※3 脳血管疾患：第2号被保険者のうち、脳出血と脳梗塞のレセプトを集計（KDB集計要件より）

[図表 2-37 要介護認定者の有病状況]

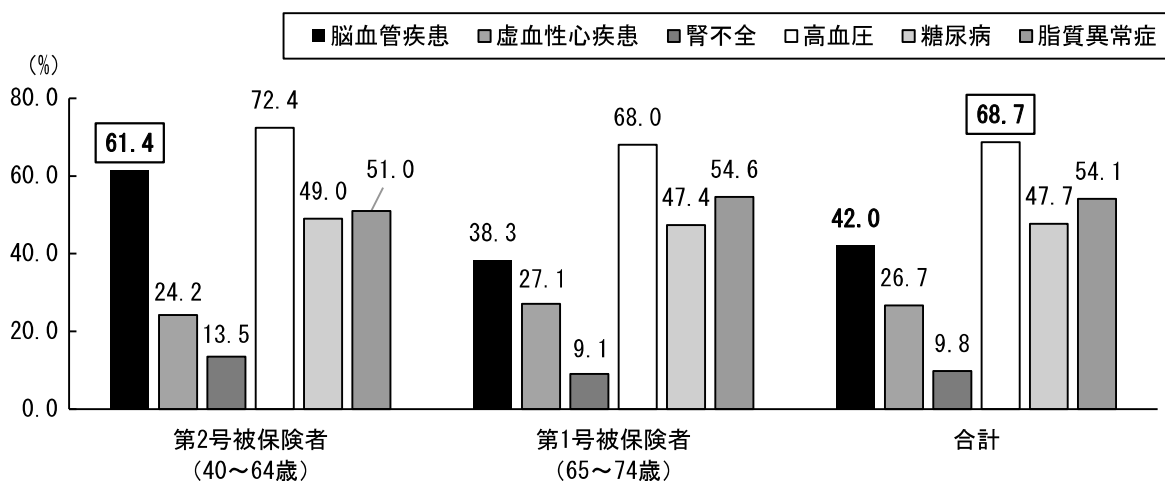
	北九州市	政令市平均	全国
糖尿病	23.4	21.5	22.1
高血圧症	54.5	48.1	50.9
脂質異常症	30.9	29.0	28.4
心臓病 ^{※1}	61.8	54.7	58.0
脳疾患 ^{※2}	25.7	23.2	25.5
がん	11.5	10.6	10.3
筋・骨格	55.8	48.1	50.3
精神	35.8	33.5	35.2

【出典】KDB（平成 28 年度）

※1 心臓病：狭心症、慢性虚血性心疾患、心臓併発症を伴うリウマチ熱、リウマチ性僧房弁疾患、急性心膜症 他（KDB 集計要件より）

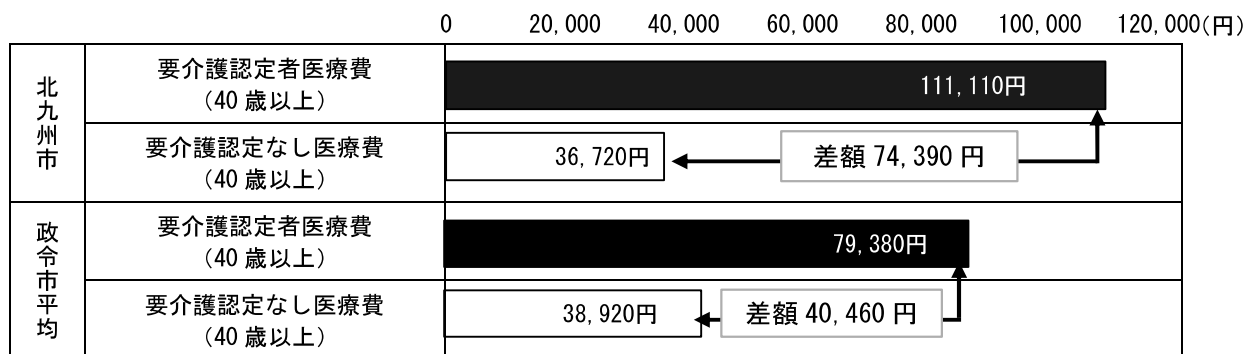
※2 脳疾患：くも膜下出血、脳内出血、その他の非外傷性頭蓋内出血、くも膜下出血の続発・後遺症、脳梗塞、脳動脈硬化（症）、その他の脳血管疾患 他（KDB 集計要件より）

[図表 2-38 被保険者の要介護認定者の有病状況]



【出典】KDB（平成 28 年度）

[図表 2-39 要介護認定者と認定なしの者の医科レセプト1件あたりの医療費の比較]



【出典】KDB（平成 28 年度）